



●家族との会話をしやすいオープンスタイルのキッチン、収納も充実、キッチン背面にランダムに並ぶブロックが無機質になりがちなトーンをかわいく演出 ●リビングと隣接した書コーナー、壁一面に大容量の本棚を造作し、ファミリアアプリーとして活用 ●2階は4人家族それぞれの個室を用意、奥さまの部屋はレッドが差し色に



①22畳のLDK、大開口を開けるとパティオとつながり、より広々とした空間に。ホワイトベースな空間にダークネイビーのドアがアクセントに



## 共働き夫婦が快適に暮らす デザインと収納を両立した家

Case  
新築  
【奥川市 K邸】

**新築したきっかけは?**  
賃貸マンションに長く住んでいましたが、双子の息子たちも中学生になったので、高校受験前に自分たちの個室がある一戸建ての夢を建て、落ちるまでという思いがありました。

**この会社に決めた理由は?**  
契約の多い規模住宅ではなく、完全自由設計で自分たちの暮らしやすい家をつくってくれるからです。営業の鈴木さんが熱心に話を聞いて提案してくれたことが決め手になりました。

**読書へのこだわり**  
自分たちの思い描くイメージが実現していても大丈夫。「ヒコケン」さんなら上手にヒアリングして思いを汲み取ってくれるので、理想通りの家が完成します!

夫+妻+長男+次男



オブジェのように美しい階段、木とステールを組み合わせ、暖かみのある空間に。スケルトンにしたことで視線が抜け、開放感が生まれた。フロアタイルを壁一面に貼ってニュアンスを出した



白とシルバーを基調としたセダン&シャープな外観デザイン。長く伸びた窓が夏の直射日光を遮り、冬は室内の奥まで光を届ける

**デザインと実用性を両立した住まい、それがK邸である。**スクエアなフォルムの外観は、住まい手のセンスと品格をさり気なく感じさせる。室内は、モダンで落ち着いた雰囲気。LDKに家族が自然と集まってきて会話を楽しむ。リビングの窓を開けるとパティオとつながり、より開放的な空間に。また、玄関、洗面脱衣室、ファミリアクローゼットなど、大容量の収納を確保しつつ、ランドリールームから扉付きのテラスにつながる動線がフルタイムで働く奥さまの家事負担を軽減。さらに、家族団らんの時間を大切にしながらも、自分だけのプライベートタイムを楽しむために4人家族それぞれの個室も用意した。冷暖房効率を逃さないために階段前に引き戸を設けたり、男性家族が多いことからトイレに小便器を設置するなど、「ヒコケン」ならではの気配りの提案も光る。「でもさあ」と言われたことは一度もなかったですね。おしやれで住みやすい家が本当に実現しました」と証す奥さまの笑顔に満足感が溢っていた。

**メイキングエピソード**  
デザイン、素材、固取り、収納の全てにこだわりました。広いリビングを備えながら、家族それぞれの居場所も確保した大人の住まいです。

奥さま 鈴木 志乃ぶさん

**HOUSE DATA**

設計・施工	丸昇彦坂建設
構造・工法	ツーバイフォー工法(枠組壁工法)
竣工	2018年6月
敷地面積	222.00㎡ [67.35坪]
延床面積	135.59㎡ [41.02坪]
	(1階78.46㎡、2階57.13㎡)
施工面積	148.16㎡ [44.82坪]
施工期間	6か月